

吹田市勤労者福祉共済運営委員会（会議概要）

- 1 日 時 令和3年12月16日（木） 午前10時00分～午前11時00分
- 2 場 所 吹田市立勤労者会館（アスワーク吹田）2階 大研修室1
- 3 出席者 安部委員・安藤委員・井上委員・植田委員・岸原委員
小島委員・松下委員・岩井委員・矢野委員・山口委員
- 欠席者 土橋委員
- 事務局 井田部長・橋本次長・新戸参事・萩原主幹・西村主査・草部主任
- 4 公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 0名
- 6 議題 (1) QRコード決済（PayPay）導入について
(2) 吹田市勤労者福祉共済令和4年度予算案
(3) 口座振替導入に関するアンケートの実施について
(4) その他

開会の挨拶。

会長より挨拶。以降、会長が進行。

委員の半数以上の出席があるため委員会は成立。傍聴申請はなし。

資料の確認。

資料1 QRコード決済（PayPay）導入について

資料2 吹田市勤労者福祉共済令和4年度予算案

資料3 吹田市勤労者福祉共済の収支について

資料4 口座振替導入に関するアンケートの実施について

資料5 吹田市勤労者福祉共済各種申請書等の様式変更について

資料6 市役所本庁舎におけるセルフ納付機の設置について

◆資料1 QRコード決済（PayPay）導入について説明。

委員：直接窓口に行かなければならないのであれば、近くの銀行で振り込む方が便利なのではないか。

>お近くの金融機関での納入が便利な場合はそうしていただければと思う。これまで、急ぎでチケットが欲しい方がいる場合、金融機関で納付いただいたうえで、領収証を確認させていただき、チケットをお渡ししていた。QRコード決済を用いれば、その場で納付からチケットのお渡しまで可能になる。また、吹田市役所内にある指定金融機関窓口での支払い件数が年間300件ほどあり、普段から指定金融機関窓口でお支払いいただいている方にとっても便利になると考えている。

会長：QRコード決済の導入は、全庁的な動きなのか。

>そのとおり。

◆資料2 吹田市勤労者福祉共済令和4年度予算案について説明。

◆資料3 吹田市勤労者福祉共済の収支について説明。

委員：家庭用常備薬の500円補助について、被共済者全員へ500円券を配布するのか。

>券を配布するのではない。家庭用常備薬の申込書にご記入いただければ、合計金額から500円差し引かれた金額で請求される。

会長：家庭用常備薬の補助を使わない人もいると思うが、被共済者全員が利用した場合の最大値を予算化しているという理解でよいか。

>そのとおり。

会長：宿泊補助について、新型コロナウイルスの影響で申請件数は減ったのか。また、宿泊補助の予算の根拠は。

＞新型コロナウイルスの影響で例年に比べて申請件数は減った。来年は増えるかもしれない。補助の予算の根拠は、給付と同じく「過去5年間の平均×1.2」で算出している。

委員：福利事業の予算について、海遊館など事業費が0になっているものがあるが、これはどういった意味なのか。

＞新型コロナウイルスの影響で共済への斡旋を休止されているが、再開されたら実施したいと考えているため0で載せている。共済にゆるすで募集を行っても定員に達しない事業もあるので、再開された場合はそういったところで余った予算をみながら実施できればと考えている。

委員：家庭用常備薬への補助について、会社から独自で補助を付けることを検討していた。良い提案だと思う。

◆資料4 口座振替導入に関するアンケートの実施について説明。

会長：アンケートの結果はどのように扱うのか。

＞アンケート実施後は、結果をまとめ方針とあわせて次回の運営委員会で報告する。

会長：この案件も全庁的な流れで出てきた話なのか。

＞そのとおり。

会長：システム改修費は福祉共済の掛金で賄わなければならないのか。

＞福祉共済の掛金収入で賄うのか、市から別途補助が出るのかについては市の内部でまだ協議が進んでいない状況である。アンケートを実施したうえで方向性を検討する。

◆資料5 吹田市勤労者福祉共済各種申請書等様式変更について説明。

◆資料6 市役所本庁舎におけるセルフ納付機の設置について説明。

委員：組み戻し手数料は何件ほど発生しているのか。

＞今年度については、現時点で5件ほど発生している。

会長：通帳の写しを添付することに関して問題ないのか。

＞内容確認後は適切に管理するため問題ないと考えている。

会長：セルフ納付機は、勤労者福祉共済だけでなく、市の実施している他の事業でも利用可能なのか。

＞規格が適合しているものであれば利用可能である。これまで市役所で何か納付しようとする場合は、指定金融機関の窓口のみの対応であったが、今後はセルフ納付機と各部署の窓口設置のQRコードでも対応できるようになる。

委員：通帳の写しは毎回添付しないといけないのか。

＞過去の申請で利用されたことのある口座であればシステムに登録されているため添付の必要はない。福祉共済において初めて利用される口座に関して添付をお願いしたいと考えている。

◆全体についての意見

委員：福利事業のチケット斡旋について、多くの事業では1人5枚上限のものが多いが、個人的に6名で利用したい。臨機応変に対応してもらえないか。

>それぞれの事業に定員がある中で、できるだけ多くの被共済者様にご利用いただきたいという思いから1人あたりの応募可能枚数の上限を決めている。そのため、定員以上の応募がある事業については今後も上限を設定したいと考えているが、応募の際に共済への意見という項目があるので、そちらにもご記入いただければありがたい。人気のある事業については、斡旋枚数を増やせるよう業者と調整できればと思う。

委員：インスタグラムについて、#吹田市#吹田などのハッシュタグを付けた方が多くの方にみていただけたらと思う。

>対応する

委員：キャッシュレス等のより効果的な運営方法や、利用者を増やすしくみについても考えてほしい。

>検討する。

会長：被共済者数が昨年度より40名増えているが、何か要因はあるのか。

>今年度は2社新たに加入されている。その他各事業所様の採用などによる自然増である。また、2年前の条例改正による加入要件の緩和や、福祉共済とは別事業で企業訪問をする際に福祉共済を紹介するなどの活動の影響もあるかと思う。

部長より閉会の挨拶。

以上